

千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度資源評価

コウイカ（東京湾）



- 千葉県沿岸では、主に東京湾内湾南部～内房北部で小型機船底びき網により漁獲される。
- 東京湾における産卵期は春季で、アマモ類や海藻類などに産卵する。
- 寿命は約1年で、産卵後に死亡するため、夏季にはほとんど漁獲がみられなくなる。

資源評価

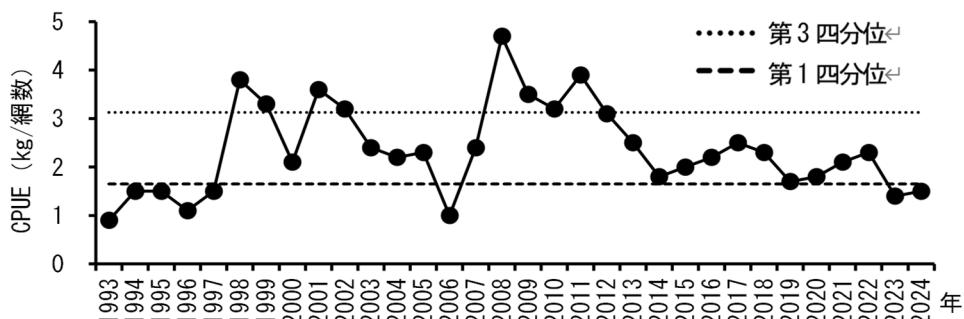
水準：低位	動向：減少

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から四分位数により評価した。

資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

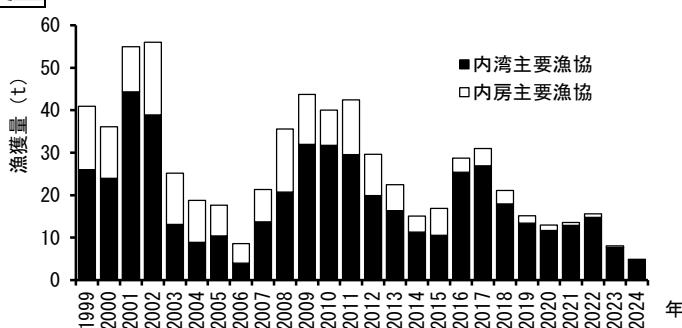
資源評価の指標値

- 資源水準及び動向は、小型機船底びき網の操業日誌から集計したCPUE(1網当たりの漁獲量)で判断した。なお、標本漁船の隻数は経年で3～12隻の範囲で変化した。
- 2024年の資源水準は最近32年間の低位、最近5年間の資源動向は減少傾向となった。



小型機船底びき網の標本漁船によるコウイカの1網当たり漁獲量(CPUE: kg/網数)の経年変化

漁獲量



東京湾の主要漁協の漁獲量の経年変化(千葉県調べ)

- 東京湾の主要漁協におけるコウイカ漁獲量は、1999年以降増減を繰り返し、近年では2017年に31tとなった後、減少傾向にあり、2024年には5tを記録した。

資源管理の取組

- 内湾の小型機船底びき網では、休漁日の設定、操業時間の制限、漁具の制限など、コウイカ以外の魚種も含めて、漁業者による自主的な資源管理が行われている。また、1994年から漁業者による産卵床の設置が行われている。